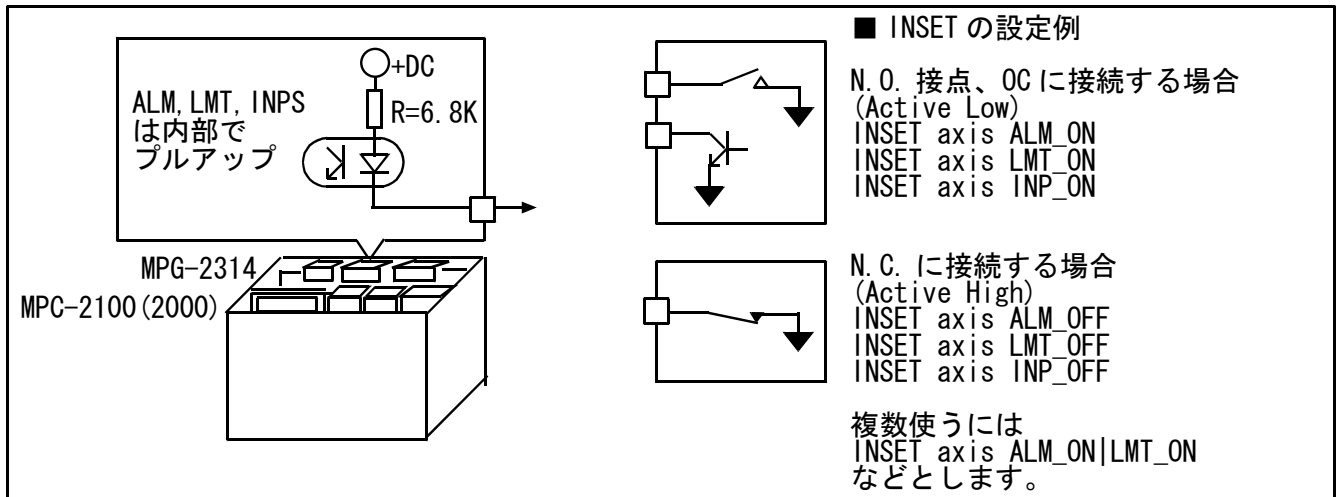


Application Note		資料作成 090331	資料番号 an2k-007
テーマ	MPG-2314 の入力状態、パルス発生時の停止要因を調べる方法		
使用機器	MPC-2100 (MPC-2000)、MPG-2314		

■ 機器構成



■ 概要

MPC-2314 の入力状態やパルス停止要因の調べ方には次の方法があります。

- 1) 現在の状態をチェックする(I/O チェック) ⇒ INCHK
- 2) プログラム実行時に現在の状態を調べる ⇒ LMT()
- 3) パルス発生後の状態(停止要因)を調べる ⇒ PGE()

■ 実行例、プログラム例

- ・ INCHK コマンドを実行すると定期的に入力をスキャンします。
 この場合の on/off は INSET の設定に関わらず、信号が Low なら on、High なら off と表示します。

```
#PG 0
#INCHK /* 現在の状態(I/O チェック)
MPG-2314
X=+LMT:off-LMT:off ALM:off INP:off INO:off IN1:off
Y=+LMT:off-LMT:off ALM:on INP:off INO:off IN1:off /* Y 軸 ALM (J6-14) が Low
U=+LMT:off-LMT:off ALM:off INP:off INO:off IN1:off
Z=+LMT:off-LMT:off ALM:off INP:off INO:off IN1:off
# /* どれかのキーを押すと停止します
```

```
・ パルス発生前に入力状態を確認、パルス発生終了後に停止要因の確認
PG 0
ACCEL ALL_A 1000
CLRPOS
INSET Y_A ALM_ON /* アラーム入力 Low で有効。この設定は必須です。
/* INSET Y_A ALM_OFF /* アラーム入力 High で有効の場合。
IF LMT(Y_A, ALM)==1 THEN /* パルス発生前に ALM 入力チェック
PRINT "ALM detect" : END
END_IF
MOVL Y_A 1000 /* パルス発生
WAIT RR(Y_A)==0 /* 終了待ち
IF PGE(Y_A, ALM)==1 THEN /* パルス発生終了後、停止要因チェック
PRINT "ALM stop" : END
END_IF
PRINT "no problem"
END
```

```
実行例
RUN
no problem /* 正常
RUN
ALM detect /* 動作前から ALM がオンの場合
RUN
ALM stop /* 動作中に ALM がオンした場合
```

以上